



As-Built™
Suite

FARO® As-Built™ Software Suite
使用すると、CADやBIM
モデリングがより簡単に



FARO®

3D現況キャプチャの ためのオールインワン ソリューション

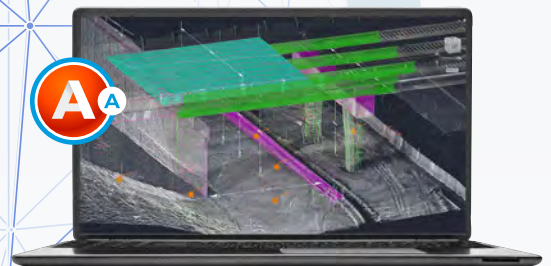
FARO As-Built™ソフトウェアスイートプログラムは、現況キャプチャをCADやBIMモデルに効率的に変換できる革新的なツールです。他のマルチベンダー製品とは異なり、As-Builtは、モデル抽出にかかる時間を大幅に短縮し、再作業量を最低限に抑え、プロジェクトコストを管理し、出力品質を向上することにより、As-Built CADやBIMモデルに対して最短パスを実現します。

As-Built Suiteは、FAROのAs-Built ModelerとそのプラグインであるFARO As-Built for AutoCAD®およびFARO As-Built for Autodesk® Revit®をまとめた製品です。Suiteは、1つのライセンスで、一般機能と業界特化型の点群データ処理ツールという強力な機能一式を提供します。これにより、どのような3D現況キャプチャデータでも最短のワークフローを実現できます。すべてのソフトウェアツールが1つのサブスクリプションベースのライセンスに収められているので、このスイートは便利で使いやすいソフトウェアとなっています。また、このスイートには、ネットワーク全体でシングルユーザーとして製品をライセンスするオプションも含まれています。

建築、エンジニアリング、建設の担当者はこのスイートを使用して、CAD設計やスキャンからBIM向けのインテリジェントオブジェクト抽出機能を実行し、あらゆるCADおよびBIMシステムに対応することができます。



As-Built™
Suite



As-Built Modeler



As-Built Modelerソフトウェアにより、たとえCADプログラムが点群データに対応していなくても、あらゆるCADプログラムが3Dスキャンデータにアクセス可能となります。座標、距離およびその他のCADやBIM形状などの建築情報を設計システムに直接取り込むストリーミングにより、As-Built情報を直接こうした設計システムに転送できます。ソース（写真測量法、ステーションナリーやモバイルレーザースキャナー、ドローン）やサイズにかかわらず、3D点群データから完全に互換性のあるモデルを作成して、数多くのCAD形式にエクスポートすることができます。

現況キャプチャのデータインポートのためのワークフロー

- 地上型スキャナーやハンディスキャナー、ドローン、モバイルマッピングシステム、写真測量デバイスでキャプチャしたデータをテキストチャームッシュにインポートし、2Dや3D、バーチャルリアリティ（VR）で表示できます。
- 複数のベンダーからのデータをサポート

関係者向けにプロジェクトを映像化

- インポートされたデータやモデリングしたデータからビデオレンダリングやフライスルービデオを作成

あらゆるCADシステムの3D As-Builtデータを評価

- 点群データから表面モデルを抽出し、それらを交差させることで、実績のあるクローズドなCADモデルを作成し、一般的なファイル形式への変換に対応するCADシステムに自動でエクスポート可能です

シンプルかつ直感で操作可能な評価ツール

- 点群データからセクションとスライスを作成し、ラインモデルとオルソ画像を自動抽出して、フロアプランや立体図プラン、ファサードプランを作成します
- 結果を推奨CADシステムに.dxfファイルの形式でエクスポートできます

コスト削減と効率性の向上

- 建設現場への複数回の訪問を不要に
- CAD/BIMモデルと点群データを重ね合わせることで、最終的なデザインモデルに確証を持つ

CADシステムへ建物情報を直接ストリーム

- 測定したデータは、WordやExcel、対応CADプログラムに直接送信できます
- 座標、距離やカスタマイズ可能なマクロを、3Dデータの写真のようにリアルなビューからCADへ送信します

As-Built for AutoCAD®ソフトウェア



インフラ設計、2D建築プラン、産業MEP施設、発掘のモデリングであっても、点群データからのオルソ写真の計算であっても、このソフトウェアには点群処理のためのツールで、ネイティブのAutoCAD®機能をさらに拡張する機能が搭載されています。

また、このソリューションでは、ビル要素や型録、配管システムや鉄骨構造、トンネルや橋、高速道路などの地形や土木工学プロジェクトに対し、モデリングやドキュメンテーションが可能となりました。その点群機能の他に、本ソフトウェアでは写真測量機能も提供しています。高解像度な配向写真（元来デジタルカメラで撮影したもの）はレーザースキャンデータの処理をサポートし、3次元ワイヤフレームモデルと表面を構築できます。

BIM用の2次元プランや3次元モデルの抽出のための強力な追加ツール

- 追加設計に100%使用可能なAutoCADのネイティブモデルを作成できます
- 最適な線の抽出とオブションの角度制限を組み合わせ、点群スライスに自動的にフィットさせることができます。また、建築要素の作図とサイズ記入のためのコマンドを実装しています
- プラントソフトウェアやBIMで使用するためのインテリジェントな配管およびスチールモデルは、配管システムや鉄骨構造造形のためのワークフローを提供し、パイプ導管や積み重ねられた鉄骨を高精度で造形することができます。プラント設計ソフトウェアの設計制約を満たすことができます
- 公差確認や衝突検知、容量計算のためのツールを提供します。完成時のCADモデルと点群データとの差異は、ヒートマップや立体図、リストで可視化され、モデリングの測定精度を検証するために使用されます

As-Built for Autodesk® Revit®



As-Built for Autodesk® Revit®は、3次元レーザースキャンデータを素早く正確に直接Autodesk Revit内で分析する必要のある建築家、エンジニア、ゼネコンのために設計されています。

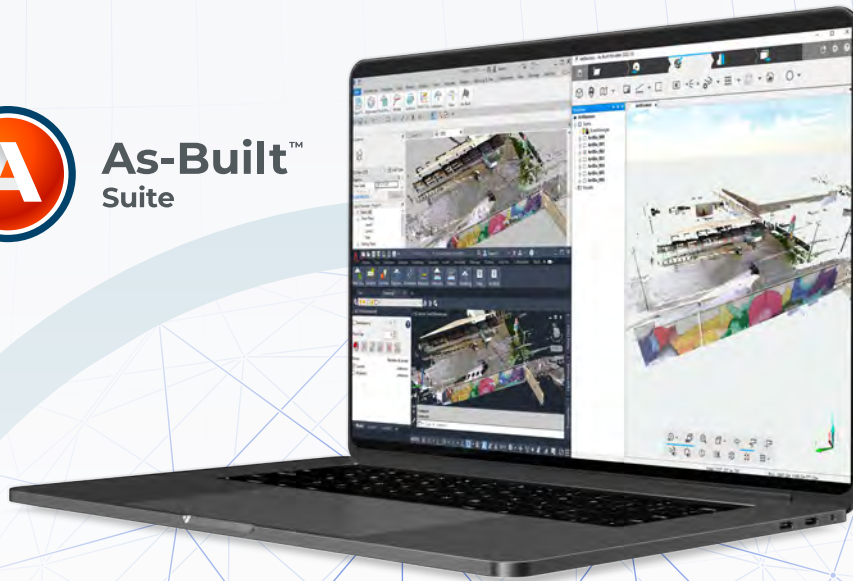
レーザースキャンデータからのBIMモデル抽出やアライメント、編集、分析のためのカスタマイズ可能な機能により、建築物のライフサイクルに沿った完全なワークフローを実現します。床面、壁、ドアや窓、柱、梁や支柱、屋根やパイプ導管まで効率よくモデリングできます。

自動ツールで、より多くの時間とコストを節約

- 壁、パイプ、ダクトや、梁や柱などの構造要素を素早く正確に作成できます。また、抽出された壁セグメントをモデル全体にわたって総合的に整列、修正、固定でき、抽出されたモデルの使い勝手が100%向上します
- その他の機能には、床面の凸凹に基づき、変形した床スラブの自動作成機能や地面（トポ）作成機能があります
- 衝突検出とサーフェス分析により、点群とRevitモデルの比較が可能になります。これにより、モデルの品質やクリアランスを自動的に検査し、必要に応じて再設計を行えます
- レーザースキャナーのデータをRevitファミリーエディターで評価できます。点群エリア、平面スキャン表示や正確なオルソ写真を使用すると、ドアや窓、柱、配管付属品のオブジェクト指定製品群を簡単に作成できます



As-Built™
Suite



世界各地に事業所を置いています。詳しくは、FARO.comをご覧ください。

FAROグローバル本社

250 Technology Park,
Lake Mary, FL 32746, USA

米国: 800 736 0234 メキシコ: +52 81 4170 3542

ブラジル: 11 3500 4600 / 0800 892 1192

FARO欧州地域本社

Lingwiesenstr. 11/2
70825 Korntal-Münchingen, Germany

00 800 3276 7253

FAROアジア地域本社

No. 3 Changi South Street 2, #01-01 Xilin
District Centre Building B Singapore, 486548

+65 65111350